

(様式3)

採 択 理 由 書

種目名	社会（歴史的分野）
-----	-----------

発行者 番 号	発行者 略 称	教 科 書 の 記号・番号	書 名
116	日 文	歴史 709	中学社会 歴史的分野

(推薦理由)

(内容)

<知識及び技能が習得できるための工夫>

単元ごとに年表が載っており、流れやポイントをおさえやすく、復習もしやすい。また、例えば「元寇」を扱う単元では、ユーラシアの変化の中でとらえられるように世界地図を大きく掲載するなど、世界の動きの中で日本の歴史をとらえる工夫が見られる。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

仕組みや因果関係を図式化した史料が多く、視覚的に捉えやすい。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

見開きのタイトル・サブタイトルが分かりやすく、時代を大観しやすい。また「見方・考え方」の欄が見開きごとにより、着目するポイントが分かりやすい構成になっている。

<組織・配列・分量>

時系列に沿った配列で扱いやすく、また戦後史のページ配分が多い。他と比較して文章量が少なく、行間にも余裕が取ってあり見やすい。それを補うように資料では読み応えのある文章が展開されている。生徒が自学自習を進める上では、1単元が複数ページにわたって展開されている箇所もあり、1時間の授業がどこまでなのかを把握しづらい。

(形式)

<資料>

干支、テーマ別索引など巻末の史料が充実しており、日本と外国の時代背景をつかみやすい。しかし充実しているがゆえにページ数は多くなっている。

<表記・表現>

中国語・ハングルなどは日本語の読み方で上にルビが振られている。また、学習内容を深める問いが、欄外に多く掲載されている。太字で書かれた語句が精選されており、学習者にとって分かりやすい。

(総括)

文章が読みやすく、史料が充実している。1単元、1授業がどこまでなのか把握しづらい部分はあるが、それは文章の丁寧な記述と、史料の多さの裏返しであり、教師が把握して見通しを持って授業展開をすれば十分に対応することが可能である。

学習課題の設定、その課題に対する見方・考え方のヒントが提示されており、生徒が課題意識を持って授業に臨むことが期待できる。最後に学習課題の確認をした後も、さらに深める課題も設定され、より発展的な学習が期待できる。

教科書のページ下には、既習事項との関連性や、地理的分野・公民的分野とのつながりが意識できるメモが書かれている。欄外のコラムも、他分野での学習事項に関わるテーマが多く取り上げられている。学習者の学びを広げる工夫が随所に見られる構成となっている。